

12月4日～10日は 人権週間です

「人権」は、私たちが幸せに自分らしく生きるための権利で、人種や民族、性別を超えて万人に共通した一人ひとりに備わった権利です。人権は、誰にとっても大切なものであり、正しい理解と認識、そして、相手の気持ちに寄り添った行動によって守らなければなりません。

皆さんの家庭や職場、地域などで、お互いに人権を尊重し合っているか、この機会に見つめ直してみませんか。



▲松崎保育園さくら組(5歳児)制作
「はなれていても ころはみつに」

人権週間とは

国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会で、「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「人権デー」と決めました。日本では、毎年12月4日～10日を「人権週間」と定め、全国的に「人権尊重」に対する啓発活動を行っています。

毎年開催している「小郡市人権週間記念講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年は中止します

人権ポスターをイオン小郡に展示します

市内の幼稚園や保育所(園)、小・中学校では、発達段階にあわせて、自分で人権について考え、判断し、行動する力を育むことができるように、人権学習を重ねています。そして、学習の中で感じたことや友達・家族を大切に思う思い、差別をなくしたいという思いを、ポスターや作文、標語などで表現しています。人権週間に合わせて、作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

期間 12月4日(金)～13日(日)

会場 イオン小郡ショッピングセンター(バスターミナル側入口)



人権擁護委員による人権教室を開催しています

人権とやさしさの心を育むことを目的に、幼稚園や小学校で、人権擁護委員による人権教室を行っています。子どもたちは紙芝居を通じてコミュニケーションをとりながら、「友達と仲良くすること」や「友達を守ること」の大切さを学んでいます。

10月に人権教室を開催した立石小学校児童の感想



いじめをしている人は、自分がされていやな事を人にしている。つられて仲間にならないようにする。「やめよう」と言えるようになりたい。



いじめは悪いことだと一番に思った。たった一つの行動、言葉で、一人ひとりが傷ついていくことがいじめ。一人ひとり仲良くすればいい。